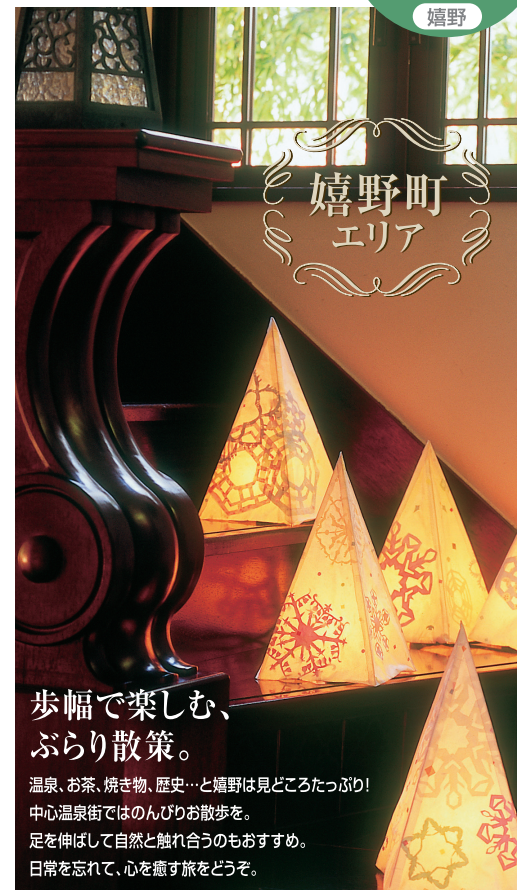


## 嬉野町 エリア

歩幅で楽しむ、  
ぶらり散歩。

温泉、お茶、焼き物、歴史…と嬉野は見どころたっぷり！  
中心温泉街ではのんびりお散歩を。  
足を伸ばして自然と触れ合うのもおすすめ。  
日常を忘れて、心を癒す旅をどうぞ。



### 知る

#### (社)嬉野温泉観光協会

温泉街の中心部にあり、高速バス九州号の中継地点・嬉野温泉バスセンター内にあるので、パンフレットの入手に便利！旅館組合とバリアフリーツアーセンターが同じフロアにあり、観光客等へ宿泊・日帰りなどあらゆる相談に応じてくれます。

MAP P12-B-2

- 0954-43-0137 ●午前8時30分～午後7時
- なし ④嬉野市嬉野町大字下宿乙2202-55
- あり ⑥http://kankou.spa-u.net/

### 体験

#### 湯遊広場

本通りの中心地点にあり、地元の人々や旅行者の交流といこの場として利用できる広場。あし湯や、源泉をミスト化したあし蒸し湯がある。どちらも無料で利用できます。大きめのタオル持参でお出かけしましょう。

MAP P12-C-3

- 0954-42-3310 (嬉野市観光商工課)
- 24時間 ④なし
- 嬉野市嬉野町下宿乙282-1 ●なし

### 体験

#### 湯宿広場

MAP P12-C-3

- 0954-42-3310 (嬉野市観光商工課)
- 午前8時～午後8時 (毎週水曜日メンテ有)
- なし ④なし

### 体験

#### シーボルトの湯

2010年に誕生した、公衆浴場「シーボルトの湯」。とんがり屋根のある外観を大正時代の建設当時の姿そのままに再現し、観光客にも好評です。また、段差の少ない多目的浴室などのバリアフリー設計で、どなたでも楽しむことができます。

MAP P12-C-3

- 0954-42-3310 (嬉野市観光商工課)
- 嬉野市川治
- あり (市営駐車場利用)

### 知る

#### 嬉野川遊歩道

肌を潤すつるつるとした泉質から、日本三大美肌の湯に数えられる温泉地。嬉野川を中心に温泉旅館が軒を連ね、その両岸には全長約2kmの遊歩道が整備されています。鴨や鯉の姿も見られ、旅の情緒にあふれています。

MAP P12

- 0954-42-3310 (嬉野市観光商工課)

### 見る

#### 豊玉姫神社

とよたまひめ

豊玉姫をまつる神社。豊玉姫の美しい肌や、嬉野温泉の効能にちなんで「美肌の神様」として親しまれています。境内には豊玉姫のお使いのなまずをまつる「なまず社」があり、お参りするに肌の病にご利益があるとか。

MAP P12-C-2

- 0954-42-3310 (嬉野市観光商工課)
- 嬉野市嬉野町下宿乙2231-2 ●なし

### 見る

#### 瑞光寺

すいこうじ

応安2(1369)年に開山した臨済宗南禅寺派の禅寺。江戸時代には大名などが宿泊する本陣として利用されていました。広い境内は緑が豊かで、荘厳な雰囲気。本尊の薬師如来像は運慶の作と言われています。

MAP P12-C-2

- 0954-42-0271
- 午前8時～午後5時30分 (本堂)
- 水曜 (施設のみ)
- 嬉野市嬉野町下宿乙1560 ●あり

### 見る

#### 永寿寺

えいじゆうじ

慶長19(1614)年に鍋島茂教が建立した曹洞宗のお寺。境内の不動堂に国の重要文化財の不動明王・矜羯羅(こんがら)童子・制陀迦(せいたか)童子の3像を安置。平安時代後期の一木彫造の貴重な彫像です。

MAP P12-E-4

- 0954-43-9616 ●午前8時～午後5時
- 嬉野市嬉野町吉田丙3486
- 40台

### 遊ぶ

#### 肥前夢街道

ひぜんゆめかいどう

江戸時代を再現した歴史体験型テーマパーク。関所をくぐれば、忍者やお姫様、サムライがいる世界。忍者体験、扮装写真体験など、子どもも大人も楽しめます。がまの油売りなどの見世物も人気。

MAP P12-D-3

- 0954-43-1990 ●午前9時～午後5時
- なし ④嬉野市嬉野町下野甲716-1
- 300台 ●http://www.hizenyumekaidou.info/

### 遊ぶ

#### みゆき公園

総面積約42haという、嬉野で最も広い総合運動公園。広大な敷地一面に芝生が植えられ、多目的運動広場や遊戯施設なども充実。約400本もの梅林園もあり、2月から3月上旬にかけて見事に咲き誇ります。

MAP P46-D-1

- 0954-42-3310 (嬉野市観光商工課)
- 施設使用は午前8時30分～午後5時
- 水曜 (施設のみ)
- 嬉野市嬉野町下宿甲2834 ●400台

### ちよつと一服 コラム 1

#### 「嬉野茶の魅力」

嬉野茶は15世紀に明から移住した陶工が、不動山血屋谷で陶器製造のかたわら自家用のお茶を栽培したのが始まりとされています。17世紀になると肥前白石郷の大庄屋・吉村新兵衛が佐賀藩の山林取締として血屋谷に赴任し、茶園を開き、産業としての嬉野茶の基礎を築きました。

嬉野茶には蒸し製玉緑茶と釜炒り製玉緑茶の2種類あります。蒸し製はふくいきとした香りでまろやか。釜炒り製は香ばしく、さっぱりしたのと越しが特徴です。